

たかし



学校運営協議会 E-Mail : takashics2020@gmail.com

～2学期を振り返る 12月に向けて～

校長 本橋 忠旗

2025年もあと1か月となりました。街にはクリスマスのイルミネーションが施され華やかな時期を迎えています。先日、済美教育センターから保護者の皆様へ、教育活動アンケートの配信がありました。12/10(水)が期日となっていますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

さて、私たちは、「お店の雰囲気」「学校の雰囲気」「人がもつ雰囲気」と言うように、「雰囲気」という言葉をよく使います。特に人については、「その人がいると自然に場が明るくなる」とか、「その人の周りに自然と人が集まってくる」といった、人柄を表すこともあります。そのような人は、その場の雰囲気づくりが上手だったりするものです。若い時分は、「自分もこんな人になりたいなあ」と憧れの眼差しをもって、その人の言動を真似ていたのを覚えています。たくさんの人との関わりによって成り立っている毎日の生活では、やはり明るく前向きな雰囲気づくりができる人を目指したいものです。そこで、雰囲気づくりの上手な人の特徴について少し調べてみました。

ある資料では、雰囲気づくりが上手な人は、社会的知性が高いという傾向があると紹介されていました。社会的知性とは、関わりの知能指数と言われ、例えば「愛嬌があり笑顔で会話ができる」「素直である(まっすぐに物事に取り組める、助言を受け止められる)」「正義感が強く、善悪の区別がしっかりと身についている」「家族を大切にする」「人の気持ちに立って物事を考えられる、人の嫌がることをしない」「努力することができる、物事を達成する喜びを知っている」「夢を持っている、未来に向かって前向きである」「自分の気持ちを表現するのが上手、上手に人を頼ることができる(ひとりで抱え込まない)」等といったことができるそうです。一つ一つは当たり前のことに思えても、憧れの誰かの顔を思い浮かべながら考えてみると「なるほど」と納得させられます。

今年度から2学期の通知表の所見に替えて個人面談を実施します。毎日の教科指導はもちろんですが、同学年での集団生活が主となる学校では、個人の振る舞いが他者や学級集団に与える影響は大きくなります。面談では、現在の学校生活の様子や課題、その課題に対する今後の取り組みの方向性についてお話させていただく予定です。子供の成長を共に支える存在として同じ方向を見据えられるように、わずかな時間ではありますが、どうぞよろしくお願いします。そして面談後は、迎える新年に、明るい希望と勇気をもつことができるよう励ましや後押しをお願いします。

『ドラえもん のび太の結婚前夜』(1999年公開の短編映画)の中で、のび太君と結婚を決めた静ちゃんが、不安な気持ちをお父さんにこぼします。するとお父さんは、「満ち足りた日々の思い出こそ、君からの最高の贈りものだったんだよ。少しくらい寂しくても思い出が温めてくれる。」そして、「のび太くんを選んだ君の判断は正しかったと思うよ。あの青年は人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことのできる人だ。それが一番人間にとって大事なことなんだからね。彼なら、まちがいなく君を幸せにしてくれると信じているよ。」と背中を押して、静ちゃんの不安を取り除くシーンがあります。

子供は大人の姿をよく見ています。まずは自分が、表情豊かに、明るく、前向きに、学校や家庭で雰囲気をつくれる人でありたいと思います。関わりの知能指数を思い浮かべながら、階段の踊り場にある鏡に映る自分の姿を確認するこの頃です。

<参考>

・ダニエル ゴールマン 著、土屋京子(翻訳) 「EQ リーダーシップ 成功する人の『こころの知能指数』の活かし方」 日本経済新聞出版 2002